

東海生研 ～ メールマガジン 第154号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

**** 《もくじ》 ****

- 1. 平成29年度「知」の集積による産学連携推進事業のうち、知的財産の技術移転加速化事業及び地域産学連携支援事業
 - ☆平成29年度第2回セミナーの開催について (10月17日)
 - ☆アグリビジネス創出フェア2017 in 東海 (11月7-8日)
 - ☆平成29年度第3回セミナー (11月21日)
 - ☆その他の行事等
- 2. 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等
 - ☆岐阜大学 産学連携フェア2017 (10月20日)
 - ☆静岡大学 第3回グリーンサイエンスカフェin浜松 (10月21日)
 - ☆平成29年度野菜花き課題別研究会
「野菜のゲノム情報を活用した育種選抜の現状と課題」(10月25日～26日)
 - ☆みえリーディング産業展2017 (10月27日～28日)
 - ☆岐阜大学フォーラム「環境ユニバーシティーフォーラム」 (11月1日)
 - ☆愛知県農業総合試験場公開デー2017 (11月3日)
 - ☆第19回全国山羊サミット in ぎふ (11月4日～5日)
 - ☆「三重大学と地元企業」との連携セミナー (11月7日)
 - ☆東海地域マッチングフォーラム (11月27日)
 - ☆名古屋大学公開講座「日本の森林と都市の持続的調和」(5月～12月、計7回)
- 3. 地域外でのセミナー・シンポ・会議等
 - ☆農林水産省等のイベント情報
- 4. 競争的研究資金について
 - ☆平成30年度科学研究費助成事業 (文部科学省)
 - ☆平成30年度科学研究費助成事業 ((独)日本学術振興会)
 - ☆研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) ステージⅢ: NexTEP-タイプ
(JST)
 - ☆産学共同実用化開発事業 NexTEP 平成29年度未来創造ベンチャータイプ
(JST)
 - ☆産学共同実用化開発事業 NexTEP 平成29年度一般タイプ (JST)
 - ☆平成29年度戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)
 - 若手ICT研究者等育成型研究開発(若手研究者枠・中小企業枠) (総務省)

- ☆平成29年度ICTイノベーション創出チャレンジプログラム (総務省)
- ?民間の競争的研究資金
- 5. 新技術情報について

◆1◆ 「知」の集積による産学連携推進事業のうち、知的財産の技術移転加速化事業及び地域産学連携支援事業

☆平成29年度第2回セミナーの開催について

【目的】農林水産・食品産業分野の先進的研究・利用事例、研究開発を取りまく情勢等について理解を深める。また、企業・団体、大学、試験研究機関等の産学官の参加者が情報交流し、東海地域における研究開発とその実用化促進に資する。

【開催日時】平成29年10月17日(火) 13:30～17:00

【開催場所】ウインクあいち(愛知県産業労働センター) 13階会議室(1307 1308)
(名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

- ・JR名古屋駅桜通口から ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
- ・ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分

【演題・講師】

第1会場(1308会議室)

○水産部会 13:30～14:30

「アコヤガイ外套膜から分離した貝殻形成細胞の移植による真珠生産法の開発」

国立研究開発法人水産研究教育機構 増養殖研究所 養殖システム研究センター
研究開発専門員 淡路 雅彦 氏

○畜産部会 14:30～15:30

「養豚農家で使える受精卵移植技術 ～伝染病侵入の危険が少ない種豚導入に期待～」

愛知県農業総合試験場畜産研究部主任研究員 田島 茂行 氏

○食品部会 15:40～16:40

「食品製造・加工におけるHACCPと危害要因」

一般社団法人食品品質プロフェッショナルズ 水野 俊秋 氏

第2会場(1307会議室)

○トピックス 13:30～14:30

「機能性食品と食品用途特許を活用した健康食品の6次産業化」

SK特許業務法人 代表社員 奥野 彰彦 氏

○林産部会 14:30～15:30

「CLT(直交集成材)利用の現状と可能性、普及への課題」

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所

複合材料研究領域長 渋沢 龍也 氏

○作物部会 15:40～16:40

「接ぎ木技術の可能性と展望」

名古屋大学大学院生命農学研究科助教 野田口 理孝 氏

【技術相談】「技術相談」のある方は当日受付で、案件名、所属、氏名をご記入したものを提出していただきます。当日は時間がございませんので、後日、十分な時間を取って対応させていただきます。

【情報交流会】17:00～18:30（第2会場1307にて開催） 会費2,500円

【参加費】講演会は参加費無料

【参集範囲】NPO法人東海生研会員、農林水産・食品産業関連企業、農業団体、食品関係団体、建築業関連企業・団体、大学・高校等教育機関、国立研究開発法人、独立行政法人、公的試験研究機関、行政機関、その他内容に関心を有する者

【主催】特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

【後援】名古屋大学大学院生命農学研究科、農研機構中央農業研究センター、公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

【開催要領】<http://www.biotech-tokai.jp/archives/1602>

【申込み】上記開催要領のURLからセミナー申込書を取り出し、必要事項をご記入の上、下記のE-mail、又はFAXでお送り下さい。

E-mail : bio-npo2@y4.dion.ne.jp TEL&FAX : 052-789-4586

.....

☆アグリビジネス創出フェア2017 in 東海

【目的】

「アグリビジネス創出フェア 2017 in 東海」は、農林水産・食品産業分野における産学官連携によるマッチング促進を目的として、農林水産省の実施する「知」の集積による産学連携推進事業のうち知的財産の技術移転加速化事業及び産学連携支援事業の一環として実施します。

本年度は、あいち産業科学技術総合センター・食品工業技術センターおよびNPO法人近畿アグリハイテクと共催し、講演会・セミナーも開催します。

【開催日時】平成29年11月7日（火）10:00～17:00

11月8日（水）10:00～17:00

【開催場所】名古屋大学 野依記念学術交流館

（名古屋市千種区不老町名古屋大学）

地下鉄名城線 名古屋大学 2番出口より徒歩4分

【内容】

（1）開会式 11月7日（火）10:00～10:20

（2）基調講演 7日（火）10:20～11:20

講師：農林水産省 農林水産技術会議事務局会議 研究総務官 菱沼義久 氏

講演名：「生物機能の高度活用による新たな農業と新産業の創出」

(3) 成果発表 7日(火) 午前、午後

大学・公設試・企業・高校

(4) 特別講演 8日(水) 13:00~14:00

講師：愛知学院大学教授 大澤 俊彦 氏

講演名：「農林水産物・食品の機能性と健康長寿社会」

(5) あいち産科技セ・食品工業技術センター セミナー 8日(水) 14:00~15:30

重点研究プロジェクト成果活用セミナー

- ・MALDI微生物同定法
- ・全自動迅速微生物検出装置
- ・近赤外食品異物検査装置
- ・残留農薬微量マルチ定量

(6) パネル等の展示 7日(火) 10:00~8日(水) 17:00

大学・公設試・高校・企業等研究成果、6次産業化新製品等の発表

(7) ポスターセッション 7日(火) 午後、8日(水) 午後

(8) 相談コーナー開設 7日(火) 16:00~17:00

農林水産省産学連携支援コーディネーターが対応

【出展募集要領】 <http://www.biotech-tokai.jp/archives/1469>

【参集範囲】 アグリビジネス創出フェアの展示・発表等にご関心のある方はどなたでもご参加ください。異分野のご専門の皆様もぜひご参加ください。

【主催】 特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

【共催】 NPO法人近畿アグリハイテク、あいち産科技セ・食品工業技術センター

【後援】 名古屋大学大学院生命農学研究科、農研機構中央農業研究センター
公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

【出展】 研究機関・企業・団体等：70ブース(予定)

【問い合わせ先】 特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 事務局(大石、道村)

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2@y4.dion.ne.jp (道村)

.....

☆平成29年度第3回セミナー

～ICT、IoT等を活用したスマート農業の展開と課題～

【開催日時】 平成29年11月21日(火) 13:30~17:00

【開催場所】 AP名古屋. 名駅 L会議室 IMAIビル7階 (会場を変更しました)

(名古屋市中村区名駅4丁目10-25)

アクセス：JR名古屋駅桜通口から 下車5分

<http://www.biotech-tokai.jp/archives/1663>

1. あいさつ：本セミナーの概要説明 13:30～13:40
2. 講演
 - 1) 衛星・ドローンによるリモートセンシングのスマート農業への活用(13:40～14:25)
農研機構 農業環境変動研究センター 井上 吉雄 氏
休憩 (14:25～14:35)
 - 2) 施設栽培における環境制御関係
 - (1) 環境モニタリングシステム「あぐりログ」による産地内情報共有
(14:35～15:05)
愛知県農業総合試験場園芸研究部次世代施設野菜研究室 番 喜宏 氏
 - (2) プロファームを活用した環境モニタリングと環境制御 (15:05～15:35)
株式会社デンソー 新事業推進部 木股 光善 氏
 - (3) 生産管理における「食・農クラウドAkisai」の活用 (15:35～16:05)
富士通株式会社 西日本営業本部東海支社 公共営業部 上田 太郎 氏
休憩 (16:05～16:15)
 - 3) 畦畔除草ロボットの開発 (16:15～17:00)
農研機構 西日本農業研究センター 傾斜地園芸研究領域 中元 陽一 氏
3. 情報交流会 (17:15～18:30)
参加費 2,500円 場所 1008会議室

【主催】 特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会
【参加申込等】 講演会は参加費無料。

☆その他の行事等

- 競争的資金説明会： 1月中旬
- 情報誌「バイオテック東海」： 12月発行予定

◆2◆ 東海地域で開催されるセミナー・シンポ・会議等

☆岐阜大学 産学連携フェア2017

【開催日時】 平成29年10月20日(金) 13:00～19:00

【開催場所】 岐阜大学サテライトキャンパス

(岐阜市吉野町6丁目31番地 岐阜スカイウイング37 東棟4階)

【内容】

- (1) 技術シーズ説明会
- (2) 岐阜大学地域交流協力会「秋の特別講演会」
- (3) パネル展示と産学官交流会

【開催案内】 <https://www.gifu-u.ac.jp/news/event/2017/09/entry27-5423.html>

【チラシ】 https://www.gifu-u.ac.jp/news/event/35b8084f5af3ef012aa5994f89641e27_1.pdf

☆静岡大学 第3回グリーンサイエンスカフェin浜松

【開催日時】平成29年10月21日(土) 14:00～15:30

【開催場所】浜松科学館

【内容】

「スーパーコシヒカリを開発するための次世代DNAシーケンサーによる遺伝子探索とゲノム編集」 講師：富田 因則(静岡大学グリーン科学技術研究所 教授)

【開催案内】 <http://www.shizuoka.ac.jp/event/detail.html?CN=4151>

【参加】無料、事前申し込み制

☆平成29年度野菜花き課題別研究会

「野菜のゲノム情報を活用した育種選抜の現状と課題」

【開催日時】平成29年10月25日13:00～26日12:00

【開催場所】アスト津 4階アストホール

(三重県津市羽所町700) TEL: 059-222-2525

【開催案内】 <http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2017/07/076214.html>

【参集範囲】国立研究開発法人および公立試験研究機関 野菜研究担当者

日本種苗協会 関係者

国および地方自治体 野菜行政・普及担当者

その他、野菜花き研究部門長が認めた者

【参加費】無料、定員250名(但し、希望者多数の場合は先着順)

【情報交換会】会費 6,000円、10月13日までに下記により送金して下さい。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2017/07/076214.html>

【お問い合わせ先】野菜花き課題別研究会事務局

E-mail:kadaibetsu2017@ml.affrc.go.jp

・研究会全般について

野菜育種・ゲノム研究領域 ゲノム解析ユニット(布目)

電話: 050-3533-4615 ファックス: 059-268-1339

・研究会参加申し込みについて

企画管理部企画連携室交流チーム(野田・山本)

電話: 029-838-6599・6603

・情報交換会について

企画管理部安濃企画連携室企画連携チーム(真柄)

電話: 050-3533-3828

☆みえリーディング産業展2017

三重県内最大級の展示会

【開催日時】平成29年10月27日（金）～28日（土）

10:00～17:00 10:00～16:00

【開催場所】四日市ドーム（三重県四日市市大字羽津甲5169）

近鉄・JR四日市駅から無料シャトルバス運行

【対象】一般の方

【入場料】無料

【詳しい資料（HP）】<http://www.pref.mie.lg.jp/sshuseki/hp/leading/>

【みえ産学官研究交流フォーラム2017】「みえリーディング産業展2017」の中で開催
<http://www.mie-u.ac.jp/topics/events/2017/09/2017-9.html>

.....

☆岐阜大学フォーラム「環境ユニバーシティフォーラム」

【開催日時】平成29年11月1日（水）13:30～15:00

【開催場所】岐阜大学 全学共通教育講義棟105番講義室

【講演】13:30～14:30

『森は岐阜の宝物』 この宝を未来に引き継ぐために
岐阜県立森林文化アカデミー教授 横井秀一氏

【対談】14:30～15:00

横井秀一氏 × 向井 譲氏（岐阜大学応用生物科学部教授）

【チラシ】https://www.gifu-u.ac.jp/news/event/forum_50.pdf

【申込】事前申し込み不要、無料

【お問い合わせ】岐阜大学環境対策室 058-293-2177

.....

☆愛知県農業総合試験場公開デー2017

【開催日時】平成29年11月3日（金）9:00～14:00

【会場】愛知県農業総合試験場（長久手市岩作三ヶ峯1-1）

【内容】・講演会 ・展示・相談 ・研究施設見学（事前申込優先）

・コラボ企画 ・試食アンケート ・生産物・加工品等の販売

【案内チラシ】http://www.pref.aichi.jp/uploaded/life/173983_339773_misc.pdf

.....

☆第19回全国山羊サミット in ぎふ

【開催日時】1日目：平成29年11月4日（土）9時～17時 交流会18時～20時

2日目：11月5日（日）10時～12時

【開催場所】1日目：シティホテル美濃加茂（岐阜県美濃加茂市太田町2565-1）

2日目：日本昭和村（岐阜県美濃加茂市山之上町2292番地1）

【開催案内】 <http://japangoat.web.fc2.com/news.html#summit2017>

【内容】 1日目

基調講演

- I. 美濃加茂市における山羊さん除草およびその関連事業の取組み（仮題）
有限会社 フルージック代表 渡辺祥二 氏
- II. 学校における動物ふれあい教育の意義と取組み（仮題）
元美濃加茂市立蜂屋小学校校長 井戸千恵子 氏

一般発表

- I. 山羊の飼育管理と衛生、II. 山羊による地域活性、
- III. 一般講演（募集演題）

2日目

- I. 人工授精・周産期管理、II. 防疫管理、
- III. 山羊によるキャラメルづくり（要予約）

【主催】 「第19回全国山羊サミット in ぎふ」実行委員会及び全国山羊ネットワーク

【参加費】 2000円/人（講演要旨代、会場費等）、交流会 5000円/人
昼食 700円/人、 定員300人 交流会は定員200人

【申込み】 申込期限 9月30日、上記の「開催案内」を開き、申込書に記入し下記の
「申込先 お問い合わせ先」にお送り下さい。

【申込先 お問い合わせ先】

全国山羊サミット in ぎふ実行委員会事務局 八代田真人

E-mail: yagi.summit@gmail.com

携帯電話：090-5101-9591 FAX：058-293-2867

.....
☆「三重大学と地元企業」との連携セミナー

～新しい視点からビジネスニーズを見つけよう！～

【開催日時】平成29年11月7日（火）13：30～17：00

【開催場所】四日市商工会議所 1階会議所ホール（四日市市諏訪町2-5）

【主催】三重銀行、三重銀総研、三重大学、四日市商工会議所

【内容】研究分野別「大学発ビジネスの種（シーズ）紹介」

具体的な内容はこちらのURLを参照して下さい。：

http://www.mie-u.ac.jp/topics/events/item/20170928_rev1kai.pdf

【参加】参加費無料、定員50名

参加申込書は、上記のURLにあります。

.....
☆東海地域マッチングフォーラム

「CO2で収量アップ！」

～CO2施用を核とした施設環境制御による野菜花き生産の活性化～

【開催日時】平成29年11月27日（月） 13:00～17:10

【開催場所】名古屋国際センターホール（別棟）

（名古屋市中村区那古野一丁目 47-1）

<http://www.nic-nagoya.or.jp/japanese/nicnews/>

【開催詳細・内容】<http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2017/10/077238.html>

【対象】農業者、農業者団体、普及・行政・試験研究機関関係者、民間企業等

【主催】農林水産省大臣官房政策課技術政策室、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業研究センター、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 野菜花き研究部門

【参加】参加費無料

【お問合せ】中央農業研究センター産学連携室 電話 029-838-8979

メール CARC-Comm@ml.affrc.go.jp

.....

☆名古屋大学公開講座「日本の森林と都市の持続的調和」

【開催日時】平成29年5月～6月及び9月～12月（計7回）

【開催場所】名古屋大学、豊田森林組合、ポートメッセなごや

【都市の木質化講座2017ポスター】

http://www.nagoya-u.ac.jp/international/upload_images/toshinokisituka2017.pdf

【主催】名古屋大学大学院生命農学研究科・都市の木質化プロジェクト

【対象者】林・林産・建築業関係者、行政関係者、一般市民（大学生以上）

【定員】30～40名

【参加費】テキスト代 1000円（7回分）、受講料無料（保険料・オプションは別途）

【申込み方法】上記のポスター（pdf）に書かれています。

【都市の木質化プロジェクト】<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~biomeng/toshimoku/>

【問合わせ先】名古屋大学大学院生命農学研究科 生物材料工学研究室

TEL：052-789-4146・4148 FAX：052-789-4147

E-mail: woodismnagoya@gmail.com

お申し込みは、E-mailにてお送り下さい。

◆3◆ 地域外でのセミナー・シンポ・会議等

○農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センターが開催するセミナー等の情報は、下記のURLの通りです。

<http://www.affrc.maff.go.jp/tsukuba/top/>

○国立研究開発法人農研機構が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/index.html>

○公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会が開催するイベント情報のURLは下記の通りです。
<http://www.jataff.jp/>

◆ 4 ◆ 平成29年度競争的研究資金等について

☆平成30年度科学研究費助成事業 ー科研費ー (文部科学省)

http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/boshu/1394559.htm

分野等：新学術領域研究、特別研究促進費

公募期間：平成29年9月1日～11月8日

.....

☆平成30年度科学研究費助成事業 ー科研費ー ((独) 日本学術振興会)

https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/03_keikaku/download.html

分野等：特別推進研究、基盤研究、挑戦的研究、若手研究

公募期間：平成29年9月1日～11月8日

.....

☆研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) ステージⅢ：NexTEP-タイプ (JST)

<http://www.jst.go.jp/a-step/koubo/h29nextep-a-1.html>

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴う規模の大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学等の研究成果の企業化を目指す。

公募期間：平成29年3月31日～11月30日 (第2回締切)

30年3月30日 (第3回締切)

.....

☆産学共同実用化開発事業 NexTEP 平成29年度未来創造ベンチャータイプ (JST)

http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_mirai01.html

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴う規模の大きい開発のうち、ベンチャー企業が行う、未来の産業創造に向けたインパクトの大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学等の研究成果の企業化を目指す。

公募期間：平成29年3月31日～11月30日 (第2回締切)

30年3月30日 (第3回締切)

.....

☆産学共同実用化開発事業 NexTEP 平成29年度一般タイプ (JST)

http://www.jst.go.jp/jitsuyoka/bosyu_ippan01.html

分野等：大学等の研究成果に基づくシーズを用いた、企業等が行う開発リスクを伴う規模の大きい開発を支援し、実用化を後押しすることで、大学等の研究成果

の企業化を目指す。

公募期間：平成29年3月31日～11月30日（第2回締切）

30年3月30日（第3回締切）

.....
☆平成29年度戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）（総務省）

若手ICT研究者等育成型研究開発（若手研究者枠・中小企業枠）」

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/scope/

分野等：ICT分野の研究者として次世代を担う若手人材を育成することや中小企業の斬新な技術を発掘するために、若手研究者又は中小企業の研究者が提案する研究開発課題。

公募期間：平成29年7月5日～10月13日（若手研究者枠）

.....
☆平成29年度ICTイノベーション創出チャレンジプログラム(I-Challenge!)（総務省）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000206.html

分野等：情報通信審議会最終答申において、「2030年に求められるサービス像」を実現するために必要となる「国が取り組むべき技術開発分野と具体的プロジェクト」として、次の7つの具体的プロジェクトが例示されている。

- ① いつでもどこでも快適ネットワーク技術
- ② G空間高度利活用基盤技術（Tokyo 3D Mapping）
- ③ 以心伝心ICTサービス基盤
- ④ フレンドリーICTサービス技術
- ⑤ 社会インフラ維持管理サービス技術
- ⑥ レジリエント向上ICTサービス技術
- ⑦ 車の自動走行支援基盤技術

本事業の公募対象となるのは、上記7つのプロジェクトに該当する課題をはじめ幅広くICTそのものの技術や、農業、医療、交通、教育などの異分野とICTとの融合をはかるなどにより、社会へ大きなインパクトをもたらす可能性を持つ、革新的な技術やアイデアを活用した新事業の創出を目指し、概念検証に取り組む技術開発課題。

公募期間：平成29年4月4日～30年3月30日

<民間の競争的研究資金>

当研究会のホームページに掲載した公募情報からご覧ください（下記のURL）。

「農林水産・食品分野の公募情報」：<http://www.biotech-tokai.jp/news/public>

◆ 5 ◆ 新技術情報について

☆園芸関係

○カキ「富有」におけるカキノヘタムシガ第一世代幼虫の防除適期は満開10日後である

カキノヘタムシガは、カキの芽や果実を加害する害虫であり、年2回発生します。特に、果実を直接加害するので被害が大きくなります。岐阜県等による研究で、カキ（品種：富有）における本害虫の第一世代幼虫に対する防除適期は、満開日の10日後となることが明らかとなりました。

農研機構HP：2016年果樹茶業部門(普及成果情報 園芸・茶)

http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/4th_laboratory/nifts/2016/16_032.html

○ニホンナシ発芽不良障害の発生は窒素施用時期の変更により軽減できる

暖地のニホンナシにおいては、秋冬期が高温となる年に発芽不良障害が生じることがあります。これは、窒素施用が耐凍性の獲得を阻害するために凍害が発生することが主因であるとされています。従って、窒素施用時期を慣行の秋冬期から翌年春に変更することにより、発芽不良障害の発生率を軽減できます。

農研機構HP：2016年果樹茶業部門（普及成果情報 気象・環境）

http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/4th_laboratory/nifts/2016/16_047.html

☆畜産関係

○太陽光発電を活用した放牧家畜の飲水の自動供給システム

休耕地など電源がない場所で放牧を行う場合に、既存の太陽光電気牧柵システムに揚水ポンプシステムを組み合わせた新たな家畜飲水供給システムが開発されました。

農研機構HP：2016年

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nilgs/056040.html

農研機構HP：耕作放棄地放牧等における 省力的家畜飲水供給システム

導入マニュアル (Ver. 1.1)

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/055278.html

.....

編集後記

「記録は破られるためにある。そのために努力し続けるのが、人間というものだ。」（英国実業家リチャード・ブランソン）という名言を思い起こさせたのが、陸上男子100m走での桐生選手による10秒の壁突破でした。最近の日本の男子短距離界は10秒を切り

そんな選手が数名いて人材が豊富であるので、誰が先陣を切るのかと楽しみでもあり期待もされていまして、日本人初となるこの快挙を喜びたいと思います。目の前の厳然たる記録の壁を打ち破ろうと、日夜、血のにじむような努力をしていることに思いを馳せ、人間として教えられるものがあります。

最近の動向として、衆議院が9月28日に解散され、10月10日に衆議院選挙の公示、10月22日が投票日となります。日本の将来を選択する重要な選挙であり、民主主義社会において民主主義を機能させていくためには、国民一人一人がよく考えて投票所に行くことが必要不可欠です。棄権せずに投票に行きましょう。

ところで、最近読んだ本に、波多野卓司著『ひとり会社』の起こし方、育て方（ぱる出版、2017年8月発刊）があります。著者は、エンジニアとして十数年企業に勤め、30代半ばに経営支援の仕事がしたいという思いが募って脱サラし、その後、専門外の勉強もして、努力の末に経営コンサルタントとして成功しました。このような経験を生かして起業支援を行っています。俗に、100の「起業」のうち成功するのは1つと言われていますが、著者の主宰する起業塾では、塾生の半数が起業し、その9割が経営を継続しており、1400人を成功に導いたとのこと。本書では、(1)起業したいという思いを醸成する時期、(2)トライアンドエラーの時期、(3)事業立ち上げ時期、(4)事業継続時期に分けて、どのような考えで進めていったら良いのかについて具体的に述べています。その中で、(1)スローに（少しずつ進む）、(2)スモールに（自分の持ち味を生かす）、(3)ローカルに（コツコツ続ける）、進めることが成功の秘訣であるとしています。

農業の成長産業化の一方で、中山間地域等の少子高齢化が進む地域で、雇用を確保し創っていくためには、本書に書かれたような考え方も取り入れて、ユニークな「ひとり会社」が、Uターン・Iターン人材、定年退職者等を含めて、多数生まれてくることを期待し、地域としてもそれらを育てていくことが重要ではないかと思われました。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 松井・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL <http://www.biotech-tokai.jp/>